

ふれかし共生新聞 はじめました。



みよしふれあいセンター
管理者 齊藤

かしの木ケアセンター
施設長 福應

三芳町のシニアが集うコミュニティの場「みよしふれあいセンター」と障害者支援施設「かしの木ケアセンター」は、同じ敷地の中で事業展開をしています。私たちは、三芳町へもっと福祉の心を広げたいという思いが一致し、多くの方に活動を知ってもらおうきっかけになればと、「ふれかし共生新聞」をはじめました。

今後、活動報告のほかイベント告知など楽しい情報を掲載していく予定です。ぜひご愛読して頂ければと思います。

また、この新聞は、福祉課・社協・町内公民館などに置かせて頂いておりますので、ご覧になって頂ければ幸いです。

ふれかし共生新聞

第1号

平成30年
2月21日
水曜日

発行／ふれかし共生新聞編集部

今年の干支は？

かしの木ケアセンターでは元旦に毎年恒例の「書き初め」を行いました。今年の干支である戌にちなみゲストに白い犬？をお招きし、ご利用者と共に書き初めに参加してもらいました！お題は自由、皆さん思い思いに今年の目標や好きな言葉などを、半紙に向かって書いていました。心新たに一年のスタートを切る事が出来たと思います。

1月は餅つき、2月には節分、かしの木ケアセンターでは季節のイベントを予定しています。

また、職員一同より良い支援ができるよう努めて参ります。



クリスマスバイキング



昨年12/24(日)、かしの木ケアセンターではクリスマス会が行われました。バイキング形式でのお食事では、チキンやお寿司など皆さん美味しそうに召し上がっていました。その他にも毎年恒例の新人職員の出し物ではハンドベルでの演奏、ビンゴ大会では景品を賭け、皆さん大いに盛り上がっていました。

今回のクリスマス会でもたくさんのご家族にお越しいただき、利用者さんもより一層楽しんでいただけたと思います。職員一同皆さんと楽しむことができ、とても良いイベントとなりました。

楽しいことをやろう

ふれあいセンターでは、毎月、書道教室を開催しているのですが、先月1月におこなわれた書道教室では、参加者のリクエストにお応えして、「書初め」を実施しました。

参加された方からは、楽しかったと言って頂けたかと思えます。あまり夢中になり過ぎて、肩が凝った方もいた様です。

後日、お聞きしたら、書かれた作品は、自宅の壁に飾っていると教えてくれた方もいましたし、ご家族へプレゼントしたという方もいました。自宅で、ひとりではできない、でも、ここでなら、みんなで楽しくやれるんですネ。

ふれあいセンターでは「ふらっと寄れる場所」を目指して運営しています。お気軽にお越し下さい。



みよしふれあいセンター

電話／049-258-7211

FAX／049-257-5776

ブログ／<https://ameblo.jp/miyofure>



かしの木ケアセンター

電話／049-257-6626

FAX／049-257-6101

HP／<http://www.kcc.or.jp/>

